

平成24年11月6～8日 市民と議会の対話集会において行政に対していただきました主なご意見・ご要望及び行政からの回答

ご意見・ご要望	行政からの回答
中央線と中央線との間に家があり、光ファイバーが設置されていないので、JRと交渉して設置してほしい。	設置要望者の住所地はNTT西日本が自社整備している区域のため、設置要望者から話を聞いたうえで、NTTとJR東海で協議しています。 光ファイバー設置ができる方向でめどが立ち、現在NTTからJRへの申請手続きを進めています。
坂本川、野田川の管理道路に下水道管も埋設されており、リニアに関係なしに舗装化を進めてほしい。	坂本川・野田川沿いの道路は、現在県河川管理道としての位置付けで、一部区間を除き市道として供用がされておりません。県から占用許可を取得し市道として供用開始を行なう予定であり、順次舗装を進めます。
この半年の間に2回救急車を呼んだが、たいへん時間がかかったので心配である。2回目は35分以上かかった。恵那市との協定もあるようなので、坂本からでなく岩村などから出動してもらうように要望する。	平成24年1月1日から11月30日までの阿木地区への平均現場到着時間は19.2分です。 阿木地区への救急出動は、西消防署から出動しますが、西消防署が出動中の時は、中消防署から出動しますので、西消防署からの出動より時間がかかります。 阿木地区(飯沼地区を除く)の心肺停止や重篤の傷病者については、恵那市消防本部と応援協定を結んでいますので、岩村消防署から出動します。
阿木の診療所の整備を要望したが、中津川市は予算がないから恵那か、中津川へいくように言われた。この地域のことをもっと考えてほしい。	阿木診療所の整備は、市政懇談会でも阿木地域の要望として上がっております。また、地域の重要課題として、阿木交流センターの建設計画を後期事業推進計画に上げています。 区長会からも、平成24年7月に、阿木交流センターの整備についての要望書が提出されています。 阿木診療所の整備については、診療所及び市民病院関係者で組織する「阿木診療所運営委員会」を随時開催し、診療所に関する問題点を協議・検討しています。その中で不足する設備等についても要望を聞き、今年度については酸素設備・パソコン・電話等を整備しています。
リニア新幹線開通に伴い、阿木への人の流入ができるようなアクセスを考えてほしい。また、恵那市と共同で検討も出来るよう合併なども考えてほしい。明智鉄道の活性化もお願いしたい。	現在、恵那市や愛知県三河地方の市町村(豊田市・新城市・設楽町・東栄町・豊根村)と協力し、国道257号を主軸とした「三河・東美濃道路」を地域高規格道路として整備できるよう各方面に働きかけを行なっております。 建設が実現されれば阿木地区とリニア新幹線駅及び愛知県三河地域といった広域のアクセスが期待されます。 広域的に取り組む必要のある事項については、恵那市等と協力して取り組んでいるところではありますが、恵那市との市町村合併については今のところ考えておりません。 明知鉄道の活性化を考えるため、毎年、沿線地区で地域の方や大学教授等による「明知鉄道シンポジウム」を開催しており、24年度は阿木中の島公園で3月23日に行い、活性化の検討も行っています。 また、10月の「鉄道の日」には、金山総合駅でPR活動を恵那市と共に行っています。

ご意見・ご要望	行政からの回答
まちづくりに対する地域への予算がきちんといただけるようお願いしたい。	現在、地域事務所長等で構成する出先事務所所長会議を中心に、がんばる地域サポート事業費、協働の生活環境づくり事業費、地域振興特別事業費等を合算し、地域活性化推進事業予算として組み立て中です。 これにより、それぞれの出先事務所が区長会やまちづくり協議会と協議し、地域にとって最も効果のある使い方を検討、実施していくことになります。 今後も地域活性化推進事業予算について、議論を積み重ねていきます。
民間で45年働き今年区長となった、市政運営に矛盾を感じている。対話しても職員(部長級)から答えが返って来ない、民間では異常である。民間は窓口(対話相手)を大切にしている。議員に頼まないと出来ない事を無くす。	市役所では、市民の皆様から信頼され、市民の皆様と市役所との良好な関係を築くため、市民の皆様の声を理解し、わかりやすく納得できる説明を行えるよう、引き続き対応の改善に取り組んでまいります。
側溝の蓋程度でも中央判断、出先に費用配分があれば早く実施出来る。	各事務所には、素早い対応を図るため10万円～20万円(地域の規模により増減)を限度として原材料費等の配分があり、所長判断で対応できる予算があります。 また、この予算をこえてしまった場合も、所長間で調整して対応できるようにしています。 さらに各出先に配分された予算を消化してしまった場合、建設課(本庁)と相談し予算配分を受けるという3段階の方式を取り、出来る限り迅速な対応を心掛けています。
最近の広報はスマートになった。行政の舵取りは難しくなった、自治会の見直しが大切、自治会長が地域を知っているのか。リニアも多くの課題がある、早く答えをだして進めるべきだ。中津川人は人柄が良いといわれる風土・土壌に、合っているが、一人ひとりが持て成しの心があるか。市役所へ行っても職員に笑顔が少ない、行政の窓口から直して行くべきだ。市役所の敷居が高い、学校もまだ高い、良い風土・土壌があるので大切にしてほしい。広報11月号に青少年活動があるが年間を通して実施してほしい。リニア問題、ミックス問題あるが新たな宝物を作る必要がある通り一辺倒にしない様に。	リニア中央新幹線計画は、平成39年(2027年)開業予定の長期にわたる事業であり、段階的に整備を進めていく必要がありますが、同時に、多くの課題が出ることも予想され、事業の進捗状況に応じて適切な時期に解決しながら事業推進していきたいと考えております。また、平成25年秋頃と想定される詳細ルート公表に向け、「リニアのまちづくりビジョン」を平成24年6月から策定を開始し、平成25年夏頃を目標に完成させる予定であり、今後のまちづくりの方向性を示し、円滑な事業推進に努めていきたいと考えております。 市役所では市民の皆様との良好なコミュニケーションの確立に向けて、民間出身のビジネスマナーアドバイザーを採用し、ビジネスマナーの向上に取り組んでいます。 窓口アンケート等を参考にしながら、市民の皆様の声を理解し、わかりやすく納得できる説明を行えるよう、引き続き窓口対応の改善に取り組んでまいります。 地域の伝統行事や学校行事等、地域の皆さんとの交流する機会を通して、小中学校が身近で親しみやすいと感じて頂けるよう改善を図ってまいります。 また、この様なご意見を頂いている事については、職員を指導する立場にある学校長・教頭に校長会等の折に伝えます。 ご指摘の記事は「なえぎ通信・11月号」に掲載されているものと思われますが、これは11月が全国「子ども・若者育成支援強調月間」のため掲載されたものです。 中津川市青少年健全育成推進市民会議では苗木支部を含め、市内13支部において、年間を通して青少年健全育成活動を行っています。 今後とも青少年健全育成活動に対しまして、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ご意見・ご要望	行政からの回答
行政区と学校区が違っている、どうしても連絡が遅くなる、行政区と学校区を一体化出来ないか。通学路は落合を通る、いろいろ落合に頼みに行かなければ成らない。	学校に関する具体的な問題がありましたらお聞かせいただき、対策を検討したいと考えています。 行政区と学校区との一体化の問題は、それぞれの地域の課題としてご検討いただき、ご提案をいただければと考えています。
馬籠ごへー祭りが今年で中止ということが言われているが、市や他の団体の支援で存続していけないか。	「ふるさと馬籠ごへー祭り」は、歴史的経緯で地域の活性化のために行われてきた事業であり、実行委員会で何度も議論されて、地域で支えきれなくなり「止める」という結論を出されたところ です。 市としては、中津川全地域の「じまん」が勢ぞろいしたイベントとして「中津川ふるさとじまん祭」を開催しており、この中で「五平もち横丁」を設置しております。 また、それぞれの地域で行っているイベントの中でも「五平もち」の販売を行っております。
蛭川の郷土資料館で資料のデジタル化を行っているが、他の地域ではきちんとした資料保管が行われていない。	現在蛭川では、文化財保護員の方を中心に蛭川郷土資料館に所蔵している歴史資料の内、明治から戦前までの行政に関わる資料の目録化を行っています。 同様の作業は、他の地域でも市史編纂室の嘱託調査員が旧町村部の各地域に出向きそれぞれ地域の協力者とともに進めており、平成25年度には資料の目録化に目処が立つ予定です。 資料の保管は、各郷土資料館や文化施設等で大切に保管されています。
重要文化財を個人的に保管しているが、このような貴重な資料を中津川市として保管できるようにしてほしい。	指定文化財の中でも古文書などの動産的なものの一部は博物館へ寄託されています。ただし、仏像など地域で信仰の対象となっているものは、市の施設へ集約することは困難です。 また、全ての文化財を市の施設で管理するには施設の収容スペースが不足しています。 個人所有者(管理者)に対しては、適切な保護管理(謝礼金)をお願いしていると共に、職員や岐阜県文化財保護協会巡視員の見回りを行っているほか、毎年一月に「文化財防火デー」を実施するなど文化財の保護に努めています。
市長が交代してから新図書館建設予定地の利用、火葬場、ミックス事業など新しい施設建設について進んでいないように思える。必要な事には早急に取り組んでほしい。	新図書館建設予定地の活用については、平成24年6月に「市街地活性化対策庁内検討委員会」を設立して、まちなかのにぎわい創出につながる活用方を協議・検討しております。今後も引き続きリニアを見据えて、ご意見をいただきながら活用案を検討していきます。 新火葬場建設について、両候補地の地元との交渉では多くの課題、問題が提起されており、これらについて市の考え方を誠意を持って十分説明し、地元の理解度を高めていきます。 理解度や協力状況を見極め、できるだけ早い時期に最終建設候補地を決めたいと考えています。 ミックス事業に関しては、新衛生センター及び汚泥処理対策事業と位置づけ、市議会に設置された特別委員会や候補地選定委員会を組織し、市民の皆様のご意見をいただきながら、早期の問題解決に向けて前向きに取り組んでおります。 一部経過については、市ホームページにてご報告させていただいておりますが、協議経過等は市広報等でご報告させていただく予定ですので、ご理解・ご支援をお願いいたします。

ご意見・ご要望	行政からの回答
予算を削減するために地域での活動の補助金がカットされるが、同時に新図書館建設中止に伴いお金が無駄になった。そのような中、補助金はカットしないようお願いしたい。	現在、総合事務所長等で構成する出先事務所所長会議を中心に、がんばる地域サポート事業費、協働の生活環境づくり事業費、地域振興特別事業費等を合算し、地域活性化推進事業予算として組み立て中です。 これにより、それぞれの出先事務所が区長会やまちづくり協議会と協議し、地域にとって最も効果のある使い方を検討、実施していくことになります。 今後も地域活性化推進事業予算について、議論を積み重ねていきます。
現在の図書館は公民館と同じ建物にあるため周りの音などの影響もあり、長時間過ごすには不適切である。市長は将来は新しい図書館を作ると言っているが、とにかく現図書館の改修を早く行ってほしい。	平成24年度は、緊急性の高い部分（児童コーナーの床の張替、トイレの換気扇の設置、ブラインドの交換、車庫シャッター修繕等）の改修を行いました。 現在、中央公民館・図書館検討委員会で利用者の要望、整備の優先順位、必要な事業費などをまとめ、中央公民館と併せて図書館部分の改修内容の検討を進めています。この検討結果を踏まえて、平成25年度以降も、書架や室内照明の改善や、トイレの洋式化など、改修を行っていく予定です。
社会教育という点から教育委員会のありかたを検討してほしい。学校教育だけでなく、生涯学習も一緒に行われるべきだと考える。	中津川市においては、生涯学習活動を市長部局と教育委員会とが連携し、市民の活動をより積極的に支援できるようにするため、現在の体制としています。このような体制は全国でも多くなり、その効果も認められているところであります。
地域振興予算が毎年少なくなっている。費用が削減されるなら、特に地域の特色を出すため地域の伝統を守ることでできる施策を検討してほしい。	現在、出先事務所所長会議を中心に、がんばる地域サポート事業費、協働の生活環境づくり事業費、地域振興特別事業費等を合算し、地域活性化推進事業予算として組み立て中です。 これにより、それぞれの出先事務所が区長会やまちづくり協議会と協議し、地域にとって最も効果のある使い方を検討、実施していくことになります。 今後も地域活性化推進事業予算について、議論を積み重ねていきます。
市有林があるにもかかわらず、林業委員が合併後大幅に減少した（14→1人）里山荒廃防止や管理などを考えるともう少し増やすことを検討してほしい。	合併前の一部の旧町村には、市有林の管理の助言をいただくために林業委員会等が設置されていましたが、現在の林業委員会は、市の森林整備計画をはじめとした林業振興一般に助言をいただくために設置しております。 なお、市有林の管理につきましては、今年度より各事務所に配置した農林担当に状況を見ながら移行していきたいと考えています。 また、今後の全市の市有林管理につきましては、森林組合を含めた形で将来の維持管理をどのようにしていくか方向性を出していきたいと考えております。
図書館について、年を取ると近くに有ると便利だ、土・日曜日の開館時間10時を早く出来ないか。	現在、山口公民館図書室は午前9時から開館しています。（土日を含みます） また、山口公民館図書室では、中央図書館を含め市内図書館・図書室の本を予約でき、週2回配送のサービスをご利用いただけます。 なお、中央図書館の開館時間は午前10時からですが、今年度の夏休み期間中（7月21日～8月26日）、開館時間を30分繰り上げ午前9時30分からにしました。開館時間については、今後も段階的に延ばしていくことを検討していきます。
電子化した図書館と利用契約を結ぶことはできないか。	国立国会図書館では平成26年1月から、デジタル化した絶版等資料データを、全国の公共図書館等で利用できるサービスを開始する予定です。 法律上、公民館図書室で利用できるか今後の課題となるところですが、中央図書館や蛭川済美図書館ではサービスが利用できるように、今後検討してまいります。